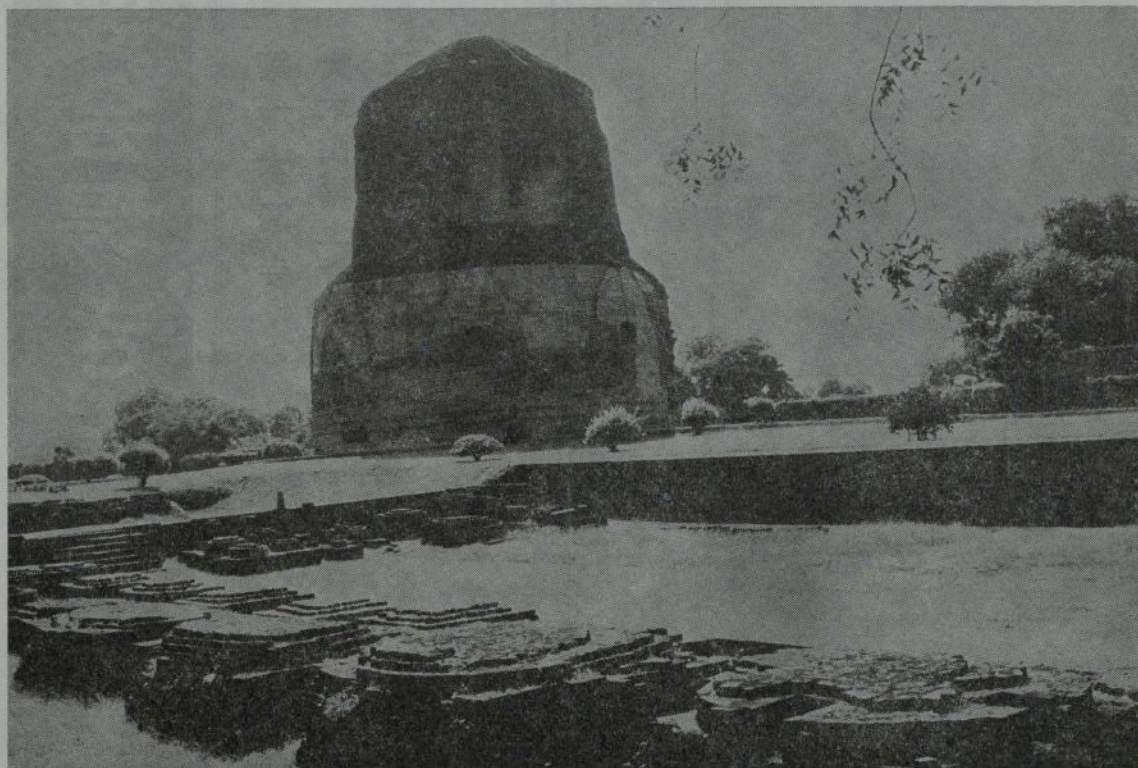


# 全 仏

NO. 234

12 / 52



## 仏跡シリーズ ⑤ <サルナート>

釈尊が五人の僧に初めて説法をなされた初転法輪の地  
サルナートは、宗教の縮図のような場所であり、ダメー  
クストーパと言われる二層の塔がシンボルである。

(カメラ・松本 栄一)

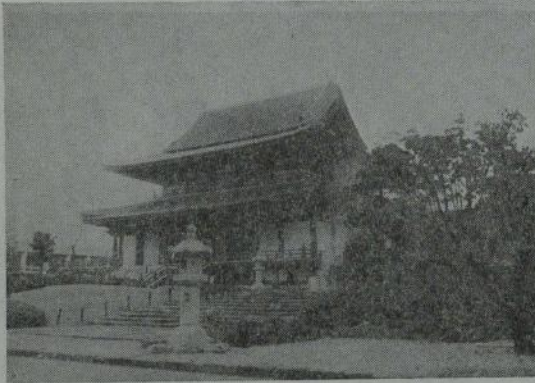
# WF B日本大会

## 主要会場きままる

閉会式	築地本願寺
歓迎大会	大本山増上寺
総会・会議	東京グランドH
閉会式	東京・国立劇場
	京都国際会議場



閉会式の行なわれる築地本願寺



総会などの行なわれる増上寺

第十二回世界仏教徒会議日本大会（WFB日本大会）は明年十月に開催されるが、残すところあと十ヶ月となり、実行委員会、事務局ともに体制を整え鋭意努力している。

―主要会場について―大会開催にあたり

### 続々参加申し込み

三十四地域  
三百人越す

第十二回WFB日本大会に寄せる各国地域センターの期待は非常に高く、ブーン殿下名の本部告示、全日本仏教会よりの正式招待状に対して、代表団・オブザーバーの派遣希望申込みが続々とよせられている。また海外開教の日系仏教団体への参加を勧める案内についても、参加申し込みや問い合わせがきており、現在渉外部でとりまとめている。このあとの作業としては参加代表者氏名、住所などの手続きをとれるよう書類を整備する。なおインド、バングラデシュ、スリランカなど為替管理のため海外渡航困難な国々に対して、一国でも多く参加できるように外務省、大使館等の関係機関に働きかけの努力を事務局でとっている。

十月二十一日現在の大会申し込みメンバーは、オーストリア、ブラジル、ビルマ・マンダレー、バングラデシュ、イギ

って会場については、それぞれ委員会・担当局部で折衝を行ない、主要会場については次のように決定し、今後詳細にわたって打ち合わせる事となった。

開会式は第二回大会でもご協力いただいた築地本願寺（東京・中央区）、諸会議・総会は大本山増上寺（東京・港区）と東京グランドホテル（港区）、歓迎大会は国立劇場（東京・千代田区）、閉会式・サヨナラパーティーは国立京都国際会館会議場（宝ヶ池）にそれぞれ決まった。

リス、フランス、ドイツ、香港仏教連合会、香港・マカオ、インド・トリプラー、インド・マハボティアツカミッシュン、インド・アッサム仏教会、韓国・曹溪宗、マレーシア、ジャバ、シンガポール、スエーデン・アリンガス、スイス、中華仏教居士会、タイ、アメリカ・ホノルル、米国仏教団、ソ連など三十四地域センター、参加希望者は三百名をこえた。この他にも非公式に参加を予定しているとの連絡もかなりの数となっている。

### ブーン会長の容体

概報（十一号）の通り、WFB会長のブーン・ピスマイ・ディスクール殿下は、脳血栓のため入院加療中です。本部からの連絡によりますと、ブーン会長の容体は「老齢のため回復は仲々困難で永引くと思われる。調子の良いときは笑顔を見

せたり、立ったりしますが、話しがはつきりしない時がときどきあります。食事は入院以来何もとっておらず、ずっとリソゲル注入をしております」とのことです。WFB本部では、病気が回復されても再び会長の席についていただくことは不可能であり、名誉会長というお立場がよいのではないかとこの配慮も考えているようです。一日も早く回復されることを祈念いたします。

# 四国ブロック会議 開く

## 六つの議案を審議

十月二十一日午後一時より、高知市内の「筆山荘」において、昭和五十二年度の四国ブロック会議（担当・高知県仏教会）が開催され、四国四県より十三名、全日仏より三名が出席し熱心な討議がなされた。

会議は、三層依文唱和のあと竜山全日仏組織局長挨拶、議長に横山玄秀師（高知）を選出して議事に入った。

議事1 全日仏埼玉大会報告

県仏代表者会議、宗派代表者会議、大会決議事項、次期開催地などを報告。

議事2 WFB活動状況報告

活動状況について担当より報告のあと分科会参加資格について、諸官庁への挨拶について、一般参加者についてなどの意見が出された。

議事3 WFB勸募依頼について

この件については四国ブロックとしては委員会案を了承。活動については各県仏の実情に合わせて行う。ただ四県がある程度の足並みをそろえる意向である。

なほ各県仏より最低二名の勸募委員の推薦を依頼した。

議事4 地方大会開催について

四国四県いずれかで開催する方向で徳島県仏が中心となって協議する。この件で来年度は早々にブロック会議を開く予定である。

議事5 各県仏活動報告

講演会が開催されているが、全体としては県仏活動は低調、ただ地区仏教会の活動は、日常生活に基づいたもので積極的に進められている。

議事6 その他

次期四国ブロック会議開催地について話し合い、五十三年は徳島県仏担当、五十四年に愛媛県仏担当と決定した。時期については担当に一任する。

出席者（順不敬略）

（高知）横山玄秀、島田信保、大久保正勝、河野道俊、池田宗石、小島賢之、早瀬源慶（香川）松下教道、逢坂恵勝、佐々木義諒（愛媛）五葉正道、小野田章神（徳島）金田義幸（全仏）竜山哲成、市橋俊昭、滝真澄

# 近畿でもブロック会議

## WFB大会勸募目標など討議

近畿ブロック会議は、京都府仏教会の担当で、十一月二十一日午後二時より京都和順会館において、開催された。

西口公教大阪府仏教会々長の導師で三層依文を唱和し、佐藤覚雄師（兵庫県仏会長）を座長に選び、議事に入った。

今回は、特に明年施行の第十二回WFB日本大会勸募に関して、西日本の意向を徴するため、近畿ブロックの外に、岡山、島根、福岡各県仏、WFB実行委員会勸募第三部門委員会、全仏関西事務局も加わり、意見の交換を行った。

提示された議題は、

- 一、第二十五回全日本仏教徒会議埼玉大会について
- 二、各府県仏活動報告
- 三、第十二回世界仏教徒会議日本大会について

第一については、全仏組織局長、竜山哲成より、報告と感謝の言葉がのべられ、各府県仏からは、決議の実行を促す旨の要望が出された。

第二については、各府県仏の活動に独自性がうかがわれ、地域に密着した運動が展開されていることの発表があった。

第三については、勸募委員会の了承事項である西日本の一般寺院の勸募について、各府県仏会員数の按分比例とする

案の各府県仏の了解を求め、決された。これにより、各府県仏の勸募目標額が設定された。

又西日本の特別寺院の一覧表作成は、勸募第三委員長小林忍戒師と事務局が協議立案し、各府県仏の協力を得て決めることで了解された。

（出席者）京都府仏―小林忍戒・宮城泰年、大阪府仏―西口公教・川口良信、兵庫県仏―佐藤覚雄、和歌山県仏―池田泰道・徳田武雄・中村真淵、滋賀県仏―清水浩成、島根県仏―米田淳雄

## 全日仏婦川崎大会

全日本仏教婦人連盟（大谷智子会長）の第二十四回全日仏婦川崎大師大会が、十一月十八日午前十時より、開創八百五十年で賑う川崎大師平間寺で、会員多数が参加し開催された。

まず本堂で記念法要（安全祈願）が、高橋隆天同寺貫首大導師のもとに厳修されたあと、全日仏婦・一条智光副会長の法話があった。第二部の祝宴は信徒会館に会場を移し、主催者を代表して山本杉理事長が挨拶した。つづいて全日仏婦の繁栄を祈念して乾杯がおこなわれたあと

来賓各位よりの祝辞があり、第三部で記念講演、総会があった。閉会した。

昭和52年12月1日

# 非常災害時と寺院

## 大阪府仏教会でアンケート

### 開放に賛成が9割

員各位の忌憚のないご意見を得てその運営に資するために行なうものです」との主旨でアンケートを行なった。

(1) 非常災害時に「寺院を開放するということ」についてあなたは賛成しますか。(イ)する92 (ロ)しない3 (ハ)わからない5

(2) 寺院を避難所として開放されますか。(イ)する86 (ロ)しない5 (ハ)わからない12

(3) 万一犠牲者があった場合、遺体安置所としてあなたの寺院を開放されますか。(イ)する85 (ロ)しない3 (ハ)わからない12

(4) 大阪府防災課等より要請があった場合あなたの寺院が「非常災害対策協力

寺院」となれますか。(イ)なる80 (ロ)ならない5 (ハ)わからない15 (数字はパーセント)

以上のようなアンケート結果をみるとこの問題についての関心度も高く、寺院開放についてはアンケートに回答した寺院の九十二パーセントが賛成し、その他の質問でも寺院開放について八十パーセント以上の賛成を得ていることは注目される。もちろんすぐどうするというのではなく、大阪府仏としてはこれらの結果をもとに、より一層の研究を重ね、府や市とも十分な話し合いをしていくものと思われるが、仏教会の意欲的な姿勢とその活動に期待したい。

## 非常災害時における「寺院開放」について

大阪府仏教会長 西口 公教

大阪府に於ては、公害防止、自然環境の保全、交通事故の防止等々については大阪府災害応急対策実施要領や防災会議等に於て万全の対策を構じられています

が、これはあくまでも、通信連絡、水防避難、救出、消防、食料確保、医師、医薬、病院、日赤奉仕団の活動等、人命の救助に重点がおかれているのは当然の事

ではあります。が、全ての人が救出されるとは限りません。望まないことではあ

りませんが、万一不幸死亡等最悪の事態に於ける対応には少しも触れられてはいません。

この事については数年前、日赤連合団長当時大阪市当局にも申し入れは致しましたが、災害対策はあくまでも救出が重点であるとの事でした。

東海地方の如く、地震については不安はないとしても、先般のKLMオランダ航空とPANアメリカ航空のジェット機

がカナリア島空港での衝突事故により乗客五百数十名が死亡しました。

若し大阪のような大都市でかかる事故が起ったとすれば、数百戸の人家と計り知れない多くの犠牲者も考えられます。

又新幹線は大阪の北辺を縦貫しています。いづれどこで不慮の災害が起るかも知れません。

拡張された地下街等、既に天六地下鉄工事現場のガス爆発事故や千日デパートの惨事等過密都市の災害には計り知れない事故があります。こうした際の救急作業は勿論万全を期してその対策は考えられてはいますが、万一不幸死に至らしめる惨事の場合病院は一刻も早く遺体の引取を要求し、その処置については警察も遺族も困る事が多々あります。

こうした場合に於ける、遺体の取扱(安置)について大阪府仏教会は大きな関心をもっています。それは未だかつて学校や神社や教会に遺体を安置した事はほとんどありません。

大阪府仏教会では、昭和五十一年度仏教徒会議の時、こうした非常災害時に於ける事態に処し、寺院の開放、受入れ可能かについて不作為に二五〇ヶ寺について調査の結果、六〇%は開放するとの回答を得ましたので、府下全域に涉り、二七〇ヶ寺の会員に対し、地区仏教会を通じて

- 一、受入れの可否
  - 一、収容人員
  - 一、設備の有無 等
- について具体的調査を致し地区仏教会別

に整理したいものと思っております。その結果、府下各市区町村役場、警察署、消防署に受入れ可能な寺院名、管理責任者所在地、電話番号、収容人員等を記載した「非常災害対策開放寺院名簿」(仮称)を発行すると共に、「開放協力寺院」には「非常災害対策協力寺院」の「銘柄標識」を掲示してその認識を深めたい考であります。

勿論この運動を実施するためには綿密な研究のもとに対策要項等の規程案を作り府仏本部役員会、理事総会での慎重な審議を経なければならぬことは言をまたないことでもあります。そのためには府当局防災課等ともよく連絡を保ち、ある程度可能な開放寺院に対する物心両面の助成等の裏付けを得なければその効果を導くことがむずかしいと考える次第であります。

要するに、今年度仏教徒会議プログラムの挨拶にも述べましたように、全一仏教運動の一環でもあり又宗教法人に則した寺院でもある我々府仏教会の事業として「地域社会に奉仕しよう」という運動展開の一つとして、最も時を得た問題として真剣に考え真面目に取り組み可能な範囲で着々実行に移してゆきたいものと思ひます。

理想論であるかもしれませんがこのことがひいては広く全国仏教会への呼びかけともなつて全国運動に展開し国民福祉社会問題に一石を投ずることを怠りてやみません。

### 国際専門委員会開く

日華親善促進会の件など議題に

国際専門委員会(柳了堅委員長)は、十一月十四日午後一時半より、全日仏会議室で開催され、柳委員長挨拶のあと、次の議事について討議がなされた。

- 一、日華仏教親善促進会の件
- 二、第十二回WFB日本大会の件

①については柳委員長より、現在ある「日華親善仏教関係促進会」(丹羽廉芳会長)が発足したいきさつから現在までの経緯について説明があり、更に促進会が、台湾側の意向として、ただ単に旅行を通じてのみの交流にとどまらず、充実した内容による交流が望まれているので上提されたと述べたあと、事務局より補足説明として、雑誌「宗教界」五十二年晩秋号22、23ページ「記載の『全日仏と日中仏教促進会が提携云々』」の記事については、事実でなく訂正記事記載方を、高杉同社主に申し出た旨報告があった。

中華民国仏教会と全日仏との関係については、従来から中華人民共和国仏教協会との間にあって難しい問題があり、全日仏としては苦慮しているとの説明され、各委員より種々意見の開陳がなされ、全日仏としての基本的態度として、政治を超えた立場を堅持すべく、ある種の「憲法」を作り出すべきであるとの意見もだされた。結論として「全日仏の友好的外郭団体として組織されることがのぞまし

い。全日仏役員は、その団体役員に役就任が良いと思うし、またその団体の個々の委員は、その団体の目的達成に尽力する」という答申を得た。

②については、事務局より現在までの経過説明がなされ、若十の質疑があつてすべて了承された。「出席者」柳了堅、新美孝道、古宇田亮文、長田順海、織内七郎、西村輝成

### 世界宗教代表者会議

#### 妙成寺大会開く

世界連邦日本宗教委員会(松村管和理事長)、世界連邦日本仏教徒協議会(新聞信雄理事長)、日蓮宗本山妙成寺(藤井教雄首首)の主催による世界連邦宗教代表者会議妙成寺大会は、十一月十(十一)日の両日、石川県羽咋市の妙成寺と国立能登青年の家に五百名余が参加して開催された。

一日目は七堂伽藍が重要文化財である妙成寺本堂において望月日滋大会長(日蓮宗管長)の大導師で法要が執行されたあと、理事長などが挨拶し開会式典を終えた。つづいて婦人集会和宗教代表者会議が同寺で行なわれ「ベトナム難民救済への提言」などがあつた。記念講演は羽咋市文化会館で行なわれ法眼晋作氏(国際協力事業団総裁)、磯村英一氏(東洋大学長)が講演した。翌日は国立能登青年の家に会場を移し、シンポジウムが五分の分科会に分れ討議された。

### IRPC会議

リスボンで開かる

仏教、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教の四宗教の代表三十二名が、リスボンの郊外カスカイスの海岸にある岩跡のホテルに集まり、「新国際経済秩序と世界の宗教」を議題に十一月七日から十一日まで討論会が開かれた。

これはアメリカのワシントン市に本部をもつIRPC(宗教間平和対話会)の主催で行なわれ、仏教からは全仏の石川恒彦国際主事とスリランカのヘーワケ教授が招かれ出席した。

新国際経済秩序とは第二次大戦後のアメリカを中心とした世界経済体制、先進国に圧倒的に有利な体制を、開発途上国の要求により、南北の格差を無くし、平等の機会をもたらすような新しい秩序のことで、近年論議が盛んとなり、昨年のアジア宗教者平和会議でも議題の一つとなつていた。

討論会では多くのことが議論されたが宗教者の新経済秩序へのかかわりという点では、人間の尊厳ということが主題となり、現在のような秩序のもとでは、途上国の人間は、人間としての可能性を開花させることが出来ないということに意見が一致した。とくにアフリカからの代表が、ローデシアや南アフリカの状況をふまえて、新国際経済秩序の要求はアフリカ人の人間であることの要求そのものであるとの発言は感銘を与えた。(I)

# 中村元氏に文化勲章



中村氏

## 丹羽文雄氏も

院出身で小説の丹羽文雄氏（日本芸術会員）が選ばれ、十一月三日皇居にて伝達式が行われた。

昭和五十一年度の文化勲章受賞者に応用化学の榎田一郎氏、細胞生理化学の田宮博氏、日本画の山本正義氏と共に、元全日仏副会長でインド哲学・仏教学の中村元氏（東大名誉教授）と寺

今回の受賞者はいずれも世界的にその道で著名な研究者であり、中村元氏はインド学、仏教学界を代表する学者として高い評価を得、現在はご自身で創設した東方研究会理事長の他、日印

文化協会会長、日本宗教学会常任理事、哲学会理事、仏教社会福祉学会顧問、日本印度哲学会評議員などの職にあり、学士院恩賜賞、東大名誉教授、仏教伝道文化賞などの栄誉を受けている。著書には「インド哲学思想」・「中村元選集」、**「仏教語大辞典」**の名著がある。

また文壇の長老である丹羽文雄氏は真宗高田派のご寺院（三重県）の出身で作品には仏教的モチーフと今日の世相をリアルに描いた「親鸞」・「蓮如」などの長編小説や、「蛇と鳩」・「厭がらせの年齢」などがある。野間文芸賞、菊池寛賞などを受賞。

# 川崎大師開創八百五十年祭

川崎大師平間寺では開創八百五十年の佳賀を迎え（大治三年「一一二八年」開創）、十一月中を奉祝月間とし、十一月一日より五日まで「開創八百五十年慶讃法要」を盛大に厳修、連日参詣人で賑わった。

一日は開創八百五十年慶讃奉告開白大法要が、午前十一時より高橋隆天貫首の大導師で奉修され、好天の境内はお練行列を見ようとする信者で大変な賑わいとなった。午後からは開創八百五十年の記念事業として建立された大山門の四天王開眼法要と扁額除幕式が、特請大導師・鷲尾隆胤下（東寺真言宗管長）のもと

に奉修された。

二日は、お練行列が仲見世を通って大山門に到着、高橋貫首大導師のもとに高さ十八・三メートル、間口十八メートルの新大山門落成慶讃法要が営まれ、次いで大本堂にて奉告法要が修行された。

以後五日まで、中回向大曼荼羅供法要やご詠歌奉詠大会、歴代々先師法要、大般若転読大待会などが修行され、結願大法要をもって盛儀を終了した。

## 加藤管長晋山

新義真言宗 根来寺座主 新義真言宗第三世管長、総本山根来寺第三十七世座主・加藤太信下下の晋山式

## 小田門跡の晋山

は、秋晴れの十月十二日午前十一時より同山大伝法堂において、宗門・真言各山管長役員・檀信徒など関係各位多数が参列して執行された。法樂・尊供につづき新座主が表白文を奉読、下平宗務総長が祝詞を述べたあと各山代表、宗内代表、和歌山県知事などの祝辞があつて式をおえた。

## 御室派 仁和寺

真言宗御室派総本山仁和寺第四十二世小田慈舟門跡の晋山式は、十月十八日午前十一時より、同山金堂で伝統に従つて厳修された。当日は真言各山管長等の参列するなか、新門跡は敬白文を奉上、つづいて真言各山代表、宗門代表、京都府知事などが祝辞を述べ、立部宗務総長の

謝辞で式をおえた。

## 日韓、韓日仏教交流協議会の合同発会式

ソウルで盛大に

日韓仏教交流協議会（麻布照海会長）と韓日仏教交流協議会（李南采会長）の合同発会式が、十月十四日午後二時より韓国のソウル市で日韓それぞれの協議会代表・オブザーバー多数が出席して盛大に開催された。

合同発会式は半島ユースホステル大会議場で開かれ、李南采会長、麻布照海会長のあいさつにつづいて、日韓両国協議会の李慧偉常務理事と田中香浦理事長が、それぞれの仏教交流協議会の経過を報告した。このあと韓日協議会の李西翁総裁の法語、来賓からの祝辞などがあつて閉式した。

翌日は記念学術大講演会が同所で開かれ、元東国大総長・趙明基博士と東大名誉教授・中村元博士が記念講演をし、東洋大・金岡教授、相工大・佐伯教授などが意見発表をした。つづいて日韓、韓日両協議会名で「日韓仏教の親善交流の促進。精神の尊厳を否定する思想と行動に對し積極的に対応する。仏教の学術文化の交流を推進し両国留学生の相互派遣をする。」などの共同声明を発表して合同発会式の行事を終えた。

財団法人 仏教伝道協会

財団法人設立発願者沼田恵範氏の夢ふくらむ

多くの人びとに仏教への理解を深めていただくとする仏教聖典寄贈運動は、発願者沼田恵範氏による財団法人仏教伝道協会が、全国主要ホテルと協力してホテル客室に仏教聖典を常備することからはじめられた。

法輪のもとに 加盟団体紹介

に常備されている分を含め、一般の人々に頒布されている約40万冊をはじめ、数万冊が諸外国で読まれているのがその実績である。

現代の欧米人は合理主義にもとづく文明社会の生き苦しさの中で、生きる規範や心の安住を東洋の精神文化に求めてひたすらな模索をしている。

欧米人が求める東の心、そこにこそ仏教があるのだと自覚した沼田氏は、キリスト教のバイブルが世界の主なホテルの客室に常備され旅行者の便に供

仏教聖典を世界の人に

ホテル客室への常備運動の輪拡がる

されているさまを外国留学中の若い頃 実際に見聞し、仏教もまた同じような方法で世界の多くの人びとに理解されることを心からのぞんだ。沼田氏の夢は大きくふくらんだ。男一生の仕事として世界中に仏教聖典を頒布し世界の人びとに仏教の真実に触れてもらおうと。

仏教聖典の寄贈の輪ひろがる

大きくふくらんだ夢を実現するためには資力がなくては何も出来ないと思ひ、帰国して一旦は官界に身を置いた氏は40才で独立し独力で株式会社三豊

製作所をおこした。そして四十余年、幾多の困難をのりこえながらマイクロメーターとその関連製品の国産化の道をたどり、それによって仏教伝道資金を得てきた。

その後、多くの賛同者を得て、昭和40年財団法人仏教伝道協会の設立にこぎつけた氏は、大正14年に木津無庵師等の編集による仏教聖典をもとに改訂編さんし事業で得た資金によって国内はもとより世界へ向っての寄贈運動をはじめた。

この聖典寄贈運動は大きな反響を呼

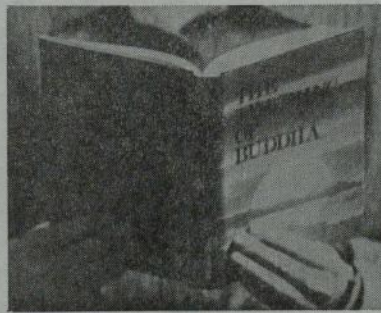
び起こした。中でも、ホテル客室に常備されている聖典を手にした旅行者からは仏教に触れた新鮮な驚き、よろこび、感激等が協会に寄せられている。

各方面からの反響と共に寄せられた多くの要望をうけとめ、協会創立10周年を記念して作成した和英対照版の完成を機に国内ホテルへの寄贈運動に加えて全国の学校、図書館、更生施設等の公共的な機関に仏教聖典を常置するため寄贈の範囲を拡大して

いる。昭和 仏教聖典の編さんをめざす

当協会では仏教聖典の確立をはかるため、現在刊行頒布している仏教聖典をもとに、第一線で研究をつづける学者や指導的な僧侶、あるいは今までにまとめられた諸文献等多くの力を結集し、昭和仏教聖典の編さんをおこなう一大計画を推進している。

△仏教聖典実費頒布価は一八〇〇円▽ 全国からの反響・要望(抜粋)



仏教聖典を手にする旅行者

●私も仏教徒の一員でありながら、ついで勉強を怠っていた仏教聖典を出張の機会にホテルで手にした。新鮮な感動が全身を走った。明日からの学生にむかう私の姿勢がピンとするおもいだ。有難いことだ。(九州・教員)

●目に輝きを失い、訴えの多い老人たちには生る希望が語れる。(名古屋・医師)

●不況といわれる現在、企業経営の規範を得た。(東京・会社役員)

●私もこの教えに少しでも近づく人になりたいと思う(福島・OL)

もう二つの仕事

仏教伝道協会では聖典の編さん、寄贈、実費頒布の他に、仏教伝道文化賞・功労賞の選定・顕彰と青年僧侶を中心とした実践布教研修を主要事業として実施している。

当協会への連絡・問合せは

〒108東京都港区芝4-3-14 仏教伝道センタービル内 財団法人仏教伝道協会へ 電話03(455)5851(代)

「全仏手帳」の訂正お詫び

五十三年度版全仏手帳の加盟団体住所録中、当会の不手際で誤記があり、関係各団体にご迷惑をおかけしましたことお詫びし、訂正いたします。

P 10 北海道仏教会連盟の郵便番号は〇六〇を〇六四。

P 12 京都府仏教会の電話番号は(二二二)四九七二(二二二)八五九八。

P 14 朝日生命仏教研究会の会長・春山定↓削除。

なお印刷後に役員変更等のため、次のように訂正となりました。

P 6 真宗誠照寺派の宗務総長・波多野曉浄↓総務・児玉義諦

P 7 臨済宗南禅寺派の宗務総長・梶井景雄↓松浦勝道

P 8 法華宗本門流の管長・松井日宏↓福島日陽

P 9 真言宗大鳴派宗務所(新加盟)泉佐野市大木八、〇七二四(五九)七〇

昭和53年版

「全仏手帳」

申し込み受付中

全仏総務局では、左記要領にて「全仏手帳」を発行致しております。部数に限りがございますので、

四三、管長・東条仁進、宗務長・帯盛龍

P 10 栃木県仏教会の住所・役員は一新され、南大通一の一四二七七(応願寺内)、(三三三)一〇四四、会長・柴田昌源、理事長・稲木宏済

お見舞

十一月二日の真宗大谷派本山・東本願寺大師堂の消火器爆弾爆破事件で被害にあわれました同寺にたいしましてお見舞申し上げますとともに、一日も早い修理・復旧を祈念いたします。

全日本仏教会

全仏事務総局の年末・年始予定

全日本仏教会事務総局では年末・年始の業務を左記のように執行いたします。

業務納め 12月24日(土) 12時  
〃 始め 1月9日(月) 10時

御注文はお早めに。

内容 三帰依文、四弘誓願、宗門聖日、加盟団体役員住所録

忌日早見表、その他

サイズ 9×14 cm

定価 五〇〇円(送料実費)

申込先 東京都台東区西浅草一五

一五(千一一) 全仏総務局宛

哀悼

中山玄雄師 (比叡山延暦寺探題、総持坊住職)十一月七日遷化。

天台声明の第一人者として知られ、それまで口伝であった声明の旋律を五線譜に書き表わし「天台声明大成」を編さんした。四十四年紫綬褒章、五十一年に芸術選奨文部大臣賞を受賞している。

WFB事務局録事 (11月)

一日 局内会議

七日 仏教英語研究会

八日 局内会議

十日 仏教英語研究会

二十一日 〃

二十四日 〃

二十六日 局内会議

事務総局録事 (11月)

一日 局内会議

四日 関西事務局打ち合せ

八日 局内会議

十四日 国際専門委員会

十五日 庭野氏誕生祝賀会出席

十六日 犬鳴派加盟承認書伝達

十八日 全日仏婦大会出席

二十一日 近畿ブロック会議

二十三日 孝道山一周忌参列

二十六日 局内会議

経本製本専門

一英堂製本所

島田 育英

小口寸法一寸五厘より、天金物その他御注文より製本お請致します。

東京都板橋区赤塚4-29-17  
〒175 でんわ03 (938) 3806

寺院用具

浅草通り五鳳会加盟店

株式会社 浪田商店

東京都台東区寿2-10-9 (地下鉄田原町駅南)  
電話 代表 (841) 4965

昭和五十二年十一月一日発行

発行人 齋藤正浩

発行所 財団法人

全日本仏教会

東京都台東区西浅草一ノ五ノ五(東京本願寺内)